

総代のみなさまへ

第42期総代の任期は2025年6月11日～2026年6月9日まで

第42期 第4号 10月6日



生協ひろしま 理事会

スポーツの秋、食欲の秋・・・お店や宅配チラシで配布される「ワクワク通信」に秋を豊かに過ごす情報がたくさん掲載されています。様々なひろばにも是非参加し、実りの季節を楽しみましょう。



9月18日開催 第5回理事会の報告

理事長挨拶

このところ急な大雨など異常気象が続いています。まずはご自身と周りの方の命を守る行動を心がけてください。コロナ感染の再拡大も心配されています。配送現場でも体調不良による人員不足が出ている支所がありますので、日頃から手洗いやマスク着用など感染予防を意識しましょう。

<議決事項>

第1号議案 新東広島支所「別棟」工事請負契約書締結について

新東広島支所「別棟」の工事請負契約書締結について承認されました。

工事請負契約の主な内容は以下となります。

- (1) 発注者 生活協同組合ひろしま
- (2) 受注者 コープハウジングひろしま株式会社
- (3) 工事場所 東広島市飯田1丁目325
- (4) 工事名 生活協同組合ひろしま こどもコーぷらざ八本松 新築工事
- (5) 工期 着手：2025年10月10日、引渡日：2026年3月20日
- (6) 請負代金の支払いについては、着工時・中間時・引渡時の3回に分けて支払いをおこないま

補助金申請については、9月末に東広島市から「けんちくかくにんすみしょう建築確認済証」が交付される予定で、これを受けて補助金交付申請を同市に提出します。申請後おおむね10日ほどで交付決定が出る見込みで、その後に工事を着工します。補助金額は2026年3月、工事完了検査を受けたのちに確定します。

第2号議案 2025年最低賃金の改定に伴う就業規則及び規定類の一部改定について

2025年最低賃金の改定に伴う就業規則及び規定類の一部改定について承認されました。

2025年11月より、広島県の最低賃金が1020円から1085円に改定されることから、生協ひろしまの時給契約職員の最低賃金について、1020円から1085円に改定します。

改定内容は以下となります。

- (1) パートナー、再雇用職員、再雇用パートナー、シニアパートナー、アルバイトは、2025年4月に一律50円増額しているため、今回の改定では時給差を維持し、一律15円を増額します。
- (2) 福祉時間専門職員、福祉ヘルパー職員において、最低賃金を下回る職種の時給者には、一律65円を増額します。

改定時期は、職種により異なりますが、2025年11月給与および12月給与より改定となります。

第3号議案 テレビ新広島との防災連携協定締結について

テレビ新広島との防災連携協定締結について承認されました。

生協ひろしまとテレビ新広島はこれまで「はじめてばこ」を通じて連携を深めてきました。

テレビ新広島は2025年10月1日に開局50周年を迎えられるにあたり、地域のみなさんの安心・安全のため「防災」への取り組みを強化していく方針を掲げられました。

これまで生協ひろしまとの長年にわたる協力関係の中で培ってきたノウハウや経験を活かし、両者の強みを結集した「防災」をテーマとする新たな取り組みを実現するため、連携協定の締結について提案があり賛同することとしました。

連携協定の目的については以下となります。

(1) 災害時の迅速かつ的確な情報発信による県民の安全確保

広島県内で発生しうる土砂災害・浸水害・地震・台風等について、両者が連携して災害関連情報を収集・発信し、県民の命と生活を守る。

(2) 平時からの防災啓発および信頼関係の構築

日常的に防災情報や生活情報を継続的に発信・提供することで、県民の防災意識を高め、地域社会との信頼関係を築く。

(3) 地域防災力の向上に向けた商品・サービス・イベントの共同開発・実施

防災商品・サービスの開発や防災イベントの開催などを通じて、さまざまな世代・地域ニーズに対応し、広島県全体の防災力強化を図る。

具体的な取り組み内容は、今後協議しながら決定していきます。なお、協定の締結日は2025年10月1日とします。

<報告事項>

第4号議案 8月度組織・事業状況及び決算報告

1. 8月度決算・事業状況

2025年8月度		損益計算書				(単月)		2025/9/5		
		予算:42期予算				単位:千円				
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明
A	宅配事業	3,113,415	3,031,042	3,249,831	97.4%	-82,373	93.3%	-218,788		宅配利用金額
B	店舗事業	835,017	846,379	834,386	101.4%	11,362	101.4%	11,993		店舗利用金額
C	供給高(利用高)	3,948,432	3,877,422	4,084,217	98.2%	-71,010	94.9%	-206,795	(A+B)	宅配・店舗利用金額
D	供給原価	2,948,376	2,906,172	3,056,012	98.6%	-42,204	95.1%	-149,840		商品の販売費用
E	供給剰余金	1,000,056	971,250	1,028,205	97.1%	-28,806	94.5%	-56,955	(C-D)	商品販売の利益
F	電力供給高	83,521	76,920	85,899	92.1%	-6,601	89.5%	-8,979		電力事業の収入
G	電力供給原価	81,645	68,342	80,862	83.7%	-13,303	84.5%	-12,520		電力事業の仕入高
H	電力供給剰余金	1,876	8,578	5,037	457.2%	6,702	170.3%	3,541	(F-G)	電力事業の利益
I	福祉事業収入	120,012	127,841	117,184	106.5%	7,829	109.1%	10,657		福祉事業の収入
J	福祉事業費用	110,664	112,819	112,238	101.9%	2,155	100.5%	581		福祉事業の費用
K	福祉剰余金	9,348	15,021	4,946	160.7%	5,673	303.7%	10,076	(I-J)	福祉事業の利益
L	共済受託手数料	61,726	61,667	61,542	99.9%	-59	100.2%	125		共済受託手数料収入
M	受取手数料	71,572	70,418	66,750	98.4%	-1,154	105.5%	3,668		受取手数料収入
N	その他事業収入	133,298	132,085	128,292	99.1%	-1,213	103.0%	3,793	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入
O	事業総剰余金	1,144,578	1,126,933	1,166,479	98.5%	-17,645	96.6%	-39,546	(E+H+K+N)	事業活動からの利益
P	人件費計	574,802	604,517	558,910	105.2%	29,715	108.2%	45,608		職員給与など
Q	物件費計	584,949	570,226	554,093	97.5%	-14,723	102.9%	16,133		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など
R	事業経費	1,159,751	1,174,744	1,113,003	101.3%	14,993	105.5%	61,741	(P+Q)	事業活動からの経費
S	事業剰余金	-15,173	-47,810	53,477	-115.1%	-32,637	-89.4%	-101,287	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益
T	事業外収益	16,307	23,644	18,877	145.0%	7,337	125.3%	4,767		財務活動からの利益(家賃収入など)
U	事業外費用	378	480	244	126.9%	102	196.8%	236		財務活動からの費用(支払利息など)
V	経常剰余金	756	-24,646	72,109	-3260.0%	-25,402	-34.2%	-96,755	(S+T-U)	事業全体で得た利益

※参考資料

宅配事業（利用人数・実利用金額）、店舗事業（来店客数・客単価）は以下となります。

宅配事業(8月1回企画～8月4回企画)								店舗事業(2025年8月度)				
宅配事業	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	店舗事業	本年実績	前年実績	前年差	前年比
利用人数(名)	569,730	565,685	563,895	99.3%	-4,045	100.3%	1,790	来店客数(名)	338,777	343,561	-4,784	98.6%
実利用金額(円/人)	5,103	4,998	5,112	97.9%	-105	97.8%	-114	客単価(円/人)	2,498	2,429	69	102.8%

＜2025 年 8 月度 損益計算書（単月）の主なポイントについて＞

8 月単月は、A 宅配事業では一人当たりの利用金額が低下し、予算比 97.4％で未達成でした。一方で、B 店舗事業では一人当たりの利用金額が伸長し、予算比 101.4％で達成しました。

全体では、C 供給高は予算比 98.2％・前年比 94.9％となり、あわせて E 供給剰余金も C 供給高の影響を受け、予算比 97.1％・前年比 94.5％となりました。

H 電力供給剰余金と K 福祉剰余金は予算を達成しましたが、E 供給剰余金と N その他事業収入が未達成だったため、O 事業剰余金は予算比 98.5％・前年比 96.6％の結果となりました。

また、R 事業経費は Q 物件費が予算内でしたが、P 人件費が予算比 105.2％と大きく上回り、全体では予算比 101.3％・前年比 105.5％となりました。

この結果、S 事業剰余金は C 供給高の減少と R 事業経費の超過が影響し、予算比－115.1％・前年比－89.4％の着地となり、T 事業外収益は予算比 145.0％と好調でしたが、8 月単月の V 経常剰余金は予算比－3,260％・前年比－34.2％と大きく下回る結果となりました。

（参考）

※宅配営業日数が 2024 年は 22 日、2025 年は 21 日で－1 日のため、前年実績に影響を与えています。

9 月は逆に営業日数が前年より＋1 日となります。

※8 月単月人件費が大幅に予算超過した要因としては、福利厚生費の制服関連が影響しました。

※事業外収益には、国からの電気の補助金が約 500 万計上されています。

2025 年 4 月～2025 年 8 月の累計実績は以下となります。

2025年4年度～2025年8月度 損益計算書					(累計)		2025/9/5				
予算:42期予算					単位:千円						
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明	
A	宅配事業	16,703,711	16,785,593	16,698,855	100.5%	81,882	100.5%	86,738		宅配利用金額	
B	店舗事業	3,931,050	4,038,900	3,809,170	102.7%	107,850	106.0%	229,730		店舗利用金額	
C	供給高(利用高)	20,634,761	20,824,493	20,508,024	100.9%	189,732	101.5%	316,468	(A+B)	宅配・店舗利用金額	
D	供給原価	15,417,825	15,592,988	15,384,124	101.1%	175,163	101.4%	208,864		商品の販売費用	
E	供給剰余金	5,216,936	5,231,505	5,123,900	100.3%	14,569	102.1%	107,604	(C－D)	商品販売の利益	
F	電力供給高	269,665	285,629	272,963	105.9%	15,964	104.6%	12,666		電力事業の収入	
G	電力供給原価	272,510	282,613	277,153	103.7%	10,103	102.0%	5,460		電力事業の仕入高	
H	電力供給剰余金	-2,845	3,016	-4,190	306.0%	5,861	272.0%	7,206	(F－G)	電力事業の利益	
I	福祉事業収入	601,092	616,965	595,346	102.6%	15,873	103.6%	21,619		福祉事業の収入	
J	福祉事業費用	551,326	555,056	554,079	100.7%	3,730	100.2%	977		福祉事業の費用	
K	福祉剰余金	49,766	61,909	41,267	124.4%	12,143	150.0%	20,642	(I－J)	福祉事業の利益	
L	共済受託手数料	310,068	309,798	309,144	99.9%	-270	100.2%	654		共済受託手数料収入	
M	受取手数料	341,400	352,331	330,700	103.2%	10,931	106.5%	21,631		受取手数料収入	
N	その他事業収入	651,468	662,129	639,844	101.6%	10,661	103.5%	22,285	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入	
O	事業総剰余金	5,915,325	5,958,559	5,800,822	100.7%	43,234	102.7%	157,737	(E+H+K+N)	事業活動からの利益	
P	人件費計	2,867,802	2,936,093	2,819,520	102.4%	68,291	104.1%	116,573		職員給与など	
Q	物件費計	2,951,603	2,899,801	2,753,849	98.2%	-51,802	105.3%	145,952		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など	
R	事業経費	5,819,405	5,835,894	5,573,369	100.3%	16,489	104.7%	262,525	(P+Q)	事業活動からの経費	
S	事業剰余金	95,920	122,665	227,453	127.9%	26,745	53.9%	-104,788	(O－R)	事業活動の利益から経費を引いた利益	
T	事業外収益	103,737	124,035	130,310	119.6%	20,298	95.2%	-6,275		財務活動からの利益(家賃収入など)	
U	事業外費用	1,765	2,121	1,792	120.2%	356	118.3%	329		財務活動からの費用(支払利息など)	
V	経常剰余金	197,892	244,580	355,971	123.6%	46,688	68.7%	-111,391	(S+T-U)	事業全体で得た利益	

2. コープ安東リニューアル・エレベータ改修工事について

コープ安東のリニューアルとエレベーター改修工事について確認しました。

店舗事業では、2016 年のコープ安東リニューアルを皮切りに、2023 年度までに 7 店舗すべてのリニューアルを完了しました。コープ安東もリニューアルから 9 年目となり、設備の老朽化や故障が見られるようになってきました。今後は、省エネタイプのショーケースへの入れ替えなどをすすめていきます。さらに、生鮮や惣菜をより充実させ、商圈で多い 40～50 歳代を中心に、買い支えてくださっている 60～70 歳代、これからを担う 20～30 歳代にも喜んでいただける売場・品揃えをめざします。

投資予算については、約 2 億 3,600 万円を予定し、リニューアル日程は、改装期間を約 4 週間とし、オープン は 2026 年 3 月上旬をめざします。

主な改修・改善内容は以下となります。

- (1) 冷蔵・冷凍ショーケースの入れ替えをおこないます。
- (2) 惣菜バックヤード・在庫保管用冷凍・冷蔵庫と搬入用エレベーターの改修をおこないます。
- (3) 売場全体のレイアウト変更及び什器^{じゅうき}の入れ替えをおこないます。
- (4) リニューアル時に電子棚札を導入し、店舗作業の負荷軽減と価格アンマッチを防いでいきます。
- (5) レジ周辺はセルフレジを中心として、利便性向上と人時の削減を図ります。

※セルフレジは職員を配置し、操作説明や対応補助をおこないます。

- (6) 風除室、レストスペースの改修、内装の美装、結露^{ふうじょしつ}やかび対策^{ないそう びそう}を実施します。

あわせて、2025 年度の投資案件として、コープ安東のリニューアル工事と同時にエレベーターの改修工事を実施することを確認しました。業務用エレベーター 2 基（1 号機・2 号機）は、1993 年の開所以来 30 年以上が経過し、耐用年数を大きく超えているにもかかわらず、これまで大規模な修繕ができていませんでした。今回、交換不要な部材は活用しつつ改修をおこない、改修費用は投資予算 3,500 万円に対し、2,284 万円を見込みます。

3. 大野事務所シンククライアントパソコンの切り替えについて

大野事務所及び、支所で使用しているシンククライアントパソコン※1（以下、シンクラ PC）について、2025 年度投資予算にて、物理パソコン※2（以下、物理 PC）に切り替えすることを確認しました。

※1：データや処理をサーバで行い、パソコン本体には大きな機能を持たせない仕組みのこと。

※2：データや処理を PC 本体の機能でおこなうパソコン。

切り替えに至る経緯及び、将来構想は以下となります。

今年度は、シンククライアントサーバ※3（以下、シンクラサーバ）の更新時期となっています。最近の物価上昇により維持費が高くなっており、概算で 3,500 万円ほどかかる見込みです。

シンクラサーバは 2010 年に、一括管理の便利さや盗難対策として導入しましたが、現在では IT 技術の進化により、運用はシステム担当で十分管理できるようになっています。

そこで今回、まず大野事務所のシンクラサーバを廃止し、一部のシンクラ PC を通常のパソコンに切り替えることにしました。将来的には各事業所のサーバも順次廃止し、コスト削減をすすめます。

※3：パソコンのデータやアプリをサーバでまとめて管理し、実際に使う端末は画面やキーボードだけで操作する仕組みのこと。

今回の切り替えとしては、大野事務所 PC（89 台）・支所 PC（21 台）は、物理 PC へ切り替え、店舗自動発注 PC（21 台）は、事業所シンクラサーバへ移行します。その結果、大野事務所シンクラサーバは、今回で廃止とします。また、将来的には、その他事業所 PC を段階的に物理 PC へ切り替えをおこなうと同時に、店舗自動発注 PC を他のサーバへ移行し、事業所シンクラサーバも廃止する方向で調整していきます。今回の費用は、投資予算 2,000 万円に対し、PC 購入金額を含め 1,655 万円を見込みます。

4. 福山商品センター外壁修繕塗装工事について

福山商品センター外壁修繕塗装工事について、2025 年度投資予算にて実施することを確認しました。福山商品センターは 1989 年に竣工し、2001 年に外壁の修繕・塗装工事を実施しましたが、それ以降、軽微な補修をおこなってきたものの、20 年以上が経過し経年劣化による外壁のひび割れや水漏れが発生しています。また、塗装の色褪せや汚れが目立ち、外観を損ねており、外壁全体の劣化が顕著であり、建物の耐久性確保のためにも全面的な修繕・塗装が必要な状況です。

主な工事内容は以下となります。

- (1) 外壁を水洗いし、塗料やコンクリートの汚れ・錆びを取り除きます。
- (2) 壁・根回りのひび割れや窓枠、縦樋、目地等の修繕・補修をおこないます。
- (3) 下塗り・上塗り、塗り工程を 2 回、飛散対策や塗りムラが出ない様、手塗りで実施します。
- (4) 北側に設置の通用階段（鉄製）については、補修・修繕・溶接を施し、塗装します。
- (5) 西側・東側の壁面に設置の看板についても、水洗い・清掃・錆び取り等をおこない塗装します。

投資予算 3,500 万円に対し、工事費用 3,100 万円を見込み、減価償却資産として、耐用年数 31 年・建物で計上します。工事期間は、2025 年 10 月中旬に工事着工予定で 2026 年 3 月中旬竣工予定です。

第 5 号議案 8 月度一般活動報告について

1. 内部統制・グループ会社報告

8 月度の内部統制（法令遵守事項、商品お申し出、車両事故、労働災害、各種事故、ヘルプライン、残業など）、グループ会社（コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド）の事業内容について報告、確認しました。

2. COOP-FACE 産直商品「こめたまご」広島県産飼料用米の添加率変更について

生協産直こめたまごの飼料へ添加している広島県産飼料用米について、添加率を現行の「10%」から「3%」に変更することを確認しました。

令和の米騒動による食用米の不足や価格高騰の影響で令和 7 年の飼料用米の作付面積が前年より減少し、全国や広島県内でも例年より少ない見込みであることから、現在の在庫と令和 7 年産の入荷量を合わせても年間必要量を十分に確保できない状況となっており、今後も安定的な供給が難しいことから、持続的に取り組むため飼料用米の添加率を見直すこととしました。

今後の変更内容は以下となります。

- (1) 商品ラベルに飼料用米添加率を表示していますが、今後の状況によっては添加率が変わる可能性があるため、添加率の表示を以下のように削除します。
現 行) 飼料に広島県産飼料用米を 10%使用しています。
変更後) 飼料に広島県産飼料用米を使用しています。
- (2) 宅配カタログ「デリコ」紙面の商品案内欄、「こーぱぱれっと」にて飼料用米添加率変更のお知らせをします。

変更時期は、宅配 2025 年 11 月 3 回企画～、店舗 2025 年 11 月下旬～を予定しています。

3. 第 42 期総代懇談会の開催日時・会場

2025 年度上期の振り返りと下期の取り組みについて話し合う「総代懇談会」について、全会場が確定したことを確認しました。開催時間は、全会場 2 時間 30 分とします。

第 42 期 総代懇談会 開催日時と会場

地区名	開催日	開催時間	会場	部屋
広島西	11 月 14 日 (金)	10:00～12:30	広島サンプラザ	3 階 金銀星
広島中	11 月 5 日 (水)		広島市安芸区民文化センター	4 階 会議室 ABC
	11 月 14 日 (金)		広島県立総合体育館	地下 1 階 中小会議室
広島北	11 月 5 日 (水)		コジマホールディングス 西区民文化センター	3 階 大会議室 A B C
	11 月 11 日 (火)		マエダハウジング 安佐南区民文化センター	3 階 大会議室
県北部	11 月 12 日 (水)		みよしまちづくりセンター	1 階 ペペらホール
東広島	11 月 7 日 (金)		東広島商工会議所	4 階 文化ホール
呉	11 月 17 日 (月)		ビューポートくれ	3 階 大ホール
県東部	11 月 12 日 (水)		サン・シープラザ	4 階 第 3 研修室
福山	11 月 7 日 (金)		福山市北部市民センター	2 階 第 3・4 会議室
	11 月 11 日 (火)		エフピコアリーナふくやま	多目的室

【文書報告】

- 1. コープ商品の改廃情報（2025 年 10 月～2025 年 12 月）として、18 品目が報告されました。
- 2. 2025 年度上期平和活動のまとめ、2025 年度平和募金 申込金額と活用方法が報告されました。
- 3. 組合員活動報告、地域連携活動報告、各会議議事録が報告されました。

インフォメーション

★平和募金にご協力ありがとうございました。

7～8 月におこなった平和募金へ 6,335,999 円のご協力がありました。被爆者支援団体・継承活動団体や平和に関する活動などへの支援として大切に活用させていただきます。

★8 月 13 日のピースナイターを観戦された神戸市立有馬中学校の校長先生が、校長室便りや始業式で生徒に向けてヒロシマの平和への思いを紹介されました。

「80 年の節目に参加できて感無量でした。子供たちには、やはり『戦争のない世の中』『平和であることの大切さ』を伝えていかねばと感じました。」と感想をいただきました。
以下、中学校に掲示されたものです。

平和な日々 III



令和7年 8月27日(水) 第9号

神戸市立有馬中学校

校長室 小齊平 憲男

9月の目標

『協和一致』

協力し合い心をひとつにして調和を保つこと

【被爆80年 戦後80年 ピースナイター 2025.8.13 (水)】

ピースナイターとは、広島東洋カープが主催し、

【マツダスタジアムにて】

毎年8月6日(またはその前後)に開催される、

平和と核兵器廃絶を訴える特別なプロ野球の

試合です。今年は8月13日に実施されました。

このイベントは、広島に原爆が投下された



8月6日にちなんでおり、平和への願いを込めて行われます。

2008年8月に旧広島市民球場で「折り鶴ナイター」として始まり、現在では広島から平

和をアピールする定着したイベントとなっています。2025年には18回目の開催を迎えま

した。目的 核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けたメッセージを、プロ野球の試合と

いう場を通じて発信することを目的としています。試合中には、観客が平和を象徴する緑

色の新聞を掲げ、球場全体を緑に染める「ピースライン 25」などのグランドパフォーマンス

が行われます。原爆ドームと同じ高さの 25 メートルに赤いラインを作り、平和と核

兵器廃絶を願う演出です。選手は胸に「Peace」、背番号に8月6日を意味する「86」が

刺繍された特別なユニフォームを着用してプレーしていました。

始球式は、広島出身の吉川晃司(被爆2世)さん ピースナイターで配布された緑の新聞



広島の方々の平和の想いが、
球場に集中している状態です。

80年の節目に参加できて感無量
でした。子供たちには、やはり『戦
争のない世の中』、『平和である
ことの大切さ』を伝えていかねば
と、感じました。



平和記念館は満員で入場制限
がありました

